

目 標

- 非営利セクターにおける人材の高齢化や後継者不足などの状況を踏まえ、人材をどのように確保・育成するのか
- 多様な主体によるネットワークをどのように形成するか

取り組みイメージ

- ①キーワードとして、「**関西発、コレクティブ・インパクトへの挑戦**」を掲げる
基本的視点として、戦略的協働論、社会的協働論の成果をコレクティブ・インパクトによる社会的課題の解決につなげる
- ②「**関西発、コレクティブ・インパクトへの挑戦**」のために、まずメンバー間で協働の意識や各セクターが必要な能力、場の共有から始める
- ③具体的な課題設定というより、複合的な課題・集合体を対象として、大阪・関西流のやり方を見出していければよい
欧米で生まれたこの概念に、関西独自の視点やアイデアを盛り込んでいきたい
- ④メンバーとしては、**有識者**（ソーシャル系・NPO系など）、**非営利法人**（NPOと株式会社の両建てで事業を実施しているような法人など）、**企業**（CSR・CSV関係）、**行政**（社会連携や地域まちづくりなどに取り組む中堅職員など⇒この取組みの目的は、行政の縦割りで埋もれているリソースを見出すもの）などで構成されるイメージ
- ⑤メンバーの協力内容については有識者（戦略的協働論の研究からの協力）、NPO法人代表（現在あるいは将来後継者問題へのアイデア提供）、CSV先進企業（関西発コレクティブ・インパクトに対する企業としての貢献内容の提案）、行政（NPO・企業との協働パートナーとして必要なことの提案）など

今後の進め方

- 年数回程度、同分科会を開催し、具体的なテーマについて検討
- 平成30年度末頃めどに一定の検討結果をとりまとめ、「提言」のようなかたちで公表をめざす

「民都・大阪」フィランソピー会議 人材（資金）分科会

| セクター | 氏名 | 所属 |
|-------|---------|-------------------------------|
| リーダー | ○佐々木 利廣 | 京都産業大学経営学部教授 |
| 学識経験者 | ○横山 恵子 | 関西大学商学部教授 |
| | ○後藤 祐一 | 尾道市立大学経済情報学部准教授 |
| NPO法人 | ○押栗 泰代 | 認定NPO法人マイママ・セラピー理事長 |
| | ○漆原 由香利 | 特定非営利活動法人NPOぱれっと理事長 |
| | ○堀野 亘求 | 認定特定非営利活動法人大阪NPOセンター事務局長 |
| 企業 | ○南 貴美子 | 大阪ガス株式会社地域共創部門近畿圏部 ソーシャルデザイン室 |
| | ○山本 高久 | 大阪商工信用金庫常務理事 |
| | ○宮高 豪 | セイコー運輸株式会社代表取締役 |
| 行政 | ○満井 祐輝 | 阪南市役所事業部都市整備課総括主査 |
| | ○増田 佑介 | 藤井寺市役所 市民生活部 協働人權課協働推進 |
| | ○小畠崇史 | 丹波市まちづくり部市民活動課 |